

# 調布「憲法ひろば」

WEB サイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第5号

4月19日  
2005年

発行=憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15  
あくろす2階 市民活動支援センター内  
メールボックス6番

FAX 番号: 0424-83-1566 大野気付

E-Mail: [chofu9jou@yahoo.co.jp](mailto:chofu9jou@yahoo.co.jp)

## 第3回「ひろば」に140人

4月16日、「調布・子どもと教育を考える市民会議4・16集会」に合流して開いた第3回「憲法ひろば」(13時～、於:グリーン小ホール)は、140人の参集で「子どもたちの未来のために」の決意を新たにしました。

写真は、右上が斉藤貴男さん、右下が石山久男さん。左は参加者のみなさん。



他者にたいする

# 最低限の想像力と優しさを

## 「学校窒息3分前」を糾明、斉藤貴男さん



司会の川上さん



行動提起の富永さん

最後に斉藤さんは「しかし展望はすでに開けつつある」と、保守層内部に深まっている矛盾の事例を並べ、「勝ち組」の傲慢を許さず、他者にたいする最低限の想像力と優しさがカギ、と参加者を激励して話を締めくくりました。

**展望はすでに開けつつある**

「最初は文春系ノンポリライターだった」と切り出したジャーナリストの斉藤貴男さん。教育・福祉の分野にまで広がる新自由主義を取材する中で変化してきたと語り、豊富な実例を挙げて、学校が「窒息3分前」に追い込まれていることを糾明しました。「軍産複合体」をねらう財界と政府は、各種「改革」を通して「勝ち組・負け組」をつくりだし、負けたのは「おまえの自己責任だ」という選別を強行しており、そこから、教育の調教化(教育基本法見直し)、国の社会保障義務の否定(憲法二五条見直し)、両性の平等の否定(二四条見直し)、戦争を積極的に仕掛ける(九条見直し)などが出ている、という指摘に会場は静まりかえりました。

被害者としてだけでなく加害者として戦争を語れ



## 子どもたちに何を教えようとしているか?

石山久男さんが明かした三つの要点

市内在住の石山久男さん(歴史教育協議会)は、「子どもたちを戦争にひきよせる教科書」と題し、改訂版扶桑社教科書の内容を紹介。そのねらいの「三つの要点」を以下のようにならかにしました。

- 1、天皇と国家支配者の「功績」を教え、国民主権を教えない。
- 2、戦争が日本の自衛・アジアの独立に役立ったと肯定して、アジアとの対話の道を閉ざす。
- 3、明治憲法のもとで国民の権利は保障されたと教え、教育基本法と憲法を「変えるべき」との意見もある」と一面的に教える。

## 調布憲法ひろばの今後のとりくみ計画

四月一〇日、世話人会は五月以降のとりくみについて以下を確認。日程は会場確保の関係で融通が利きにくいですが、内容や運営については、みなさんのご意見をどうぞ！お寄せください。

### 五月例会(第四回)

- 日時・五月一五日(日) 一三時半から
- 会場・あくろすホール
- 発題・マスコミと憲法問題
- 発題者・丸山重威さん

### 六月例会(第五回)

- 日時・六月五日(日) 一三時半から
- 会場・あくろすホール
- 発題・生活の中から平和を：戦争と暴力を考える
- 発題者・竹内常一さん

### 七月例会(第六回)

- 日時・七月一七日(日) 一三時半から
- 会場・あくろすホール
- 発題・国民投票法案や戦後教科書攻撃などの問題を検討中です。
- 発題者・ひろば世話人 深大寺北町在住